

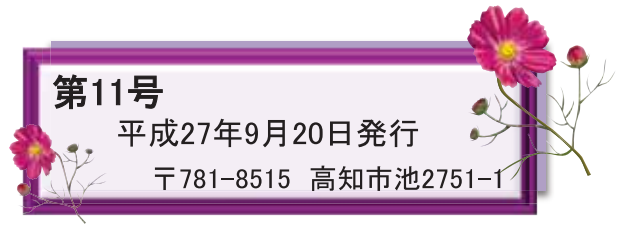
同窓会会報

高知県立大学看護学部

第11号

平成27年9月20日発行

〒781-8515 高知市池2751-1



懇親会(ラ・ヴィータにて)

ごあいさつ

同窓会会長 梶原和歌

今年の看護学部同窓会総会は7月18日、イタリア料理のラ・ヴィータ(Lavita)ホールに約80名が集まり、盛大に開催されました。昼間は第41回高知女子大学看護学会に参加し、その後、懇親会を兼ねた夜の同窓会に流れ込み、3次会で同学年のクラス会を開催して旧交を温めるというコースも定番化しつつあります。懇親会ではマリンバ奏者として県内外でご活躍の明神あけみさん、適子さん母娘の力強いマリンバ弾奏を近距離から眺め、美しいメロディに癒しのひとときを過ごしました。

総会ホールには、私たちが親しみをこめてご先祖様とお呼びしていた養護教諭の野島幸代さん(第1回卒業生・昭和30年卒)が今年3月ご逝去されていまして、高知女子大学で先陣をきってくださいましたことを偲び追悼企画コーナーを設けました。

また、慶賀すべきこととして、山崎美恵子さん(5期生)が日本看護協会名誉会員に認証されました。おめでとうございます。

考えてみると私たちは経済的に自立し、それぞれの自己実現に向かって歩んできました。世界のあちこちでは、まだ紛争による爆撃やテロが絶えず、幼い命や弱い者たちの命が犠牲になっています。わが国においても、貧困による人々の生活への影響や課題、健康格差など、さまざまな問題が生じています。

私たちは、看護学を専攻したおかげで、自己と他者に向き合い、家族・地域社会・世界について考え、人間が健康的に生きるとはどういうことか、人生の深みをのぞくことができましたように感じます。同窓会活動や会報をとおして、こうしたことを一緒に考えていくことができれば幸いです。



主な内容

- ①同窓会会長ごあいさつ
- ②同窓会総会報告
- ③懇親会
- ④同窓会・懇親会に参加して
- ⑤第41回高知女子大学看護学会の報告

- ⑥野島幸代様(1期生)を偲び、感謝を込めて
- ⑦山崎美恵子先生 日本看護協会名誉会員に
- ⑧高知医療センター吉川病院長 田鍋看護局長ご就任
- ⑨フレッシュな卒業生からの便り
- ⑩高知県・高知市の保健師トップリーダーとして



平成27年度 同窓会総会報告

平成27年度看護学部同窓会総会が、7月18日(土)に開催されました。本年度の総会は、ラ・ヴィータを会場に、県内外から78名が参加して行われました。

同窓会長あいさつ

開会にあたって、梶原和歌同窓会長より同窓会は今後さらに在學生、卒業生の教育・研究への支援や相互に学び合うネットワークづくりを行っていきたくと話されました。

また、今年ご逝去された野島幸代様(1期生)を偲ぶお言葉が述べられ、皆で黙祷を行いました。

議事

議事進行にあたっては、議長に今村優子氏(学部30期修士10期)を選出し、次第に則って審議されました。

最初に庶務担当の森下利子氏より平成26年度同窓会活動報告があり、会計担当の大西ゆかり氏より、平成26年度決算報告があり、承認されました。

引き続き、平成27年度活動計画案および役員について、平成27年度予算案について、それぞれ提案があり、承認されました。

高知女子大学看護学会支援費については、事業に位置づけて、継続していくことが承認されました。

会次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議長選出
4. 議事
 - 1) 報告事項
 - (1) 平成26年度活動報告について
 - (2) 平成26年度決算報告について
 - (3) 平成26年度会計監査報告について
 - 2) 審議事項
 - (1) 平成27年度活動計画案
 - (2) 平成27年度予算案
 - (3) 平成26・27年度役員について
5. 山崎美恵子先生の日本看護協会名誉会員の受章
6. 看護学部長あいさつ
7. 閉会



平成27年度活動計画

1. 会議
 - 1) 総会の開催
 - 2) 役員会の開催
2. 事業
 - 1) 講演会(高知女子大学看護学会との共催)
日時:平成27年7月18日(土)
テーマ「看護の可視化がもたらすものー災害時の要配慮者を対象としたパッケージ開発の研究から見えてきたものー」
講師:加藤令子先生
(共立女子大学看護学部 教授)
 - 2) 会報発行 第11号、第12号発行
 - 3) 高知女子大学看護学会への活動支援
 - 4) 学生ボランティア活動支援
 - 5) 緊急奨学金貸与
 - 6) 同窓生への活動支援



平成26年度活動報告

1. 会議
 - 1) 総会 平成26年7月12日(土)
 - 2) 役員会 3回開催
2. 事業
 - 1) 講演会(高知女子大学看護学会との共催)
講演 テーマ「実践に活かすナラティブ・アプローチ」
講師:遠藤淑美(大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻)
 - 2) 会報発行 第9号・第10号
 - 3) 学生ボランティアへの支援
 - 4) 高知女子大学看護学会への活動支援
 - 5) ホームページの充実

学部長あいさつ

中野綾美看護学部長からは、男女共学となってから、今春初めて卒業生が出て、臨床の場でいきいきと働いている様子や大学院看護学研究科が、看護学専攻、共同災害看護学専攻の2専攻3課程になって2年目を迎え、多くの修了生もCNSとしてそれぞれの臨床領域でリーダーとして活躍している様子など、大学の近況が報告されました。大学の発展に伴い、同窓会でも、益々のネットワークの強化が期待されることを述べられました。



総会における同窓会役員

同窓会役員名簿(平成27・28年度)



役員名	氏名	卒業・修了期	所属
会長	梶原和歌	10期生	近森病院看護部
副会長	野嶋佐由美* ¹	20期生	高知県立大学看護学部
	中野綾美* ²	27期生	高知県立大学看護学部
書記	池添志乃	34期生・修士2期生 博士1期生	高知県立大学看護学部
	田鍋雅子	38期生・修士13期生	高知医療センター看護局
会計	川上理子	35期生・11期生	高知県立大学看護学部
	大西ゆかり	博士8期生	高知県立大学看護学部
会計監査	鶴浜祥子	26期生	高知市保健所
	矢野智恵	38期生・修士1期生	高知学園短期大学
庶務	角谷広子	25期生・修士5期生	芸西病院看護部
	森下利子	19期生	高知県立大学看護学部
	川本美香* ³	修士13期生	高知県立大学看護学部

*¹: 看護学会会長
 *²: 看護学部長
 *³: 看護学会役員
 は当て職とする

平成26年度 会計報告

○ 収入の部 (平成26年4月1日から平成27年3月31日)

費目	予算額	決算額	差引	備考
前年度繰り越し	8,223,367	8,223,367	0	平成26年度在校生(学部、大学院)分の終身会費を含む
平成26年度会費	1,530,000	1,530,000	0	学部生 82人 × 15,000円 修士課程 15人 × 15,000円 博士課程 3人 × 15,000円 DNGL 2名 × 15,000円
寄付金	200,000	222,000	△22,000	19名
利息	1,000	472	528	
収入合計	9,954,367	9,975,839	△21,472	

○ 支出の部

費目	予算額	決算額	差引	備考
会議費	20,000	37,324	△17,324	役員会等
同窓会会報発行費	400,000	400,000	0	会報発行2回
高知女子大学看護学会支援費	500,000	500,000	0	高知女子大学看護学会への活動支援費
同窓会総会・懇親会運営費	40,000	17,620	22,380	運営・謝品等
学生支援費	100,000	0	100,000	学生災害ボランティア活動費(交通費等)
同窓生活動支援費	300,000	0	300,000	1件あたり上限10万円
通信費	370,000	327,176	42,824	郵送料、切手、はがき代等
印刷費	70,000	39,200	30,800	封筒印刷等
消耗品費	50,000	56,422	△6,422	ファイルほか事務用品、A4用紙、宛名シール
報償費	80,000	77,096	2,904	アルバイト料、各種手数料等
終身会費二重払返金	0	15,000	△15,000	
予備費	8,024,367	0	8,024,367	
支出合計	9,954,367	1,469,838	8,484,529	

平成26年度 決算残高 収入合計 ¥9,975,839
 支出合計 ¥1,469,838
 差引残高総計 ¥8,506,001

平成26年度決算報告について
 監査を行い、以上相違ありません。

ス條田 加代子
 山本 雅子



平成27年度 予算案

○ 収入の部 (平成27年4月1日から平成28年3月31日)

費目	予算額	備考
前年度繰り越し	8,506,001	平成27年度在学生の終身会費を含む
平成27年度会費	1,500,000	平成27年度学部、大学院入学生100名分
寄付金	200,000	1口1,000円 × 200口
利息	1,000	利息
収入合計	10,207,001	

○ 支出の部

費目	予算額	備考
会議費	20,000	役員会等
同窓会会報発行費	400,000	会報発行2回
高知女子大学看護学会支援費	300,000	高知女子大学看護学会への活動支援費
同窓会総会・懇親会運営費	70,000	会場費等
学生支援費	100,000	学生ボランティア活動支援(交通費等)
同窓生活動支援費	300,000	1件あたり上限10万円
緊急奨学金費	535,800	授業料 × 1名
役務費	370,000	通信運搬費、各種手数料、ホームページ管理費等
印刷費	70,000	封筒印刷等
消耗品費	70,000	ファイルほか事務用品、A4用紙、宛名シール等
報償費	80,000	会報発送作業などのアルバイト料等
予備費	2,296,201	
繰り越し金	5,595,000	平成27年度在学学生終身会費 学部生: 333名、大学院生: 40名
支出合計	10,207,001	

懇親会



南 裕子学長



松本女里先生



同期の集まりです！



野島幸代様への
感謝を込めて



マリンバの調べ



山崎智子先生



明神母娘によるマリンバ演奏



県内外の同窓生が
集いました



第41回 高知女子大学 看護学会の報告



平成27年7月18日に『看護を可視化する方略』をテーマに、第41回高知女子大学看護学会が高知県立大学池キャンパスにて開催されました。

当日は卒業生・修了生をはじめ県内外の看護職者221名のみなさまの参加をえて、活気ある学術集会となりました。

講演会

共立女子大学看護学部教授 加藤令子先生に御登壇いただきました。

加藤先生は2007年より障害のある子どもが自然災害に備えるための研究をされており、「看護の可視化がもたらすもの—災害時の要配慮者を対象としたパッケージ開発の研究から見えてきたもの—」というテーマでご講演いただきました。

先生が開発された災害セルフケアパッケージの活用によって、子どもや教員、保護者の認識が変わり、子どもの生きる力を高めることにつながったことなど、研究により看護を可視化したことの成果などお話しいただきました。

参加者の方からは、「看護の活動の幅広さを感じた」「日ごろの自分の取り組みに置き換え新たな気づきが得られた」などの感想がよせられました。



加藤令子先生

総会

ランチョン形式で行われた総会には、50名の学会員に参加いただきました。博士1期性中西純子氏と学部34期生池添志乃氏が議長として選出され、平成26年度の事業報告、会計決算報告、会計監査報告が行われ、承認されました。続いて、審議事項として、役員組織案、平成27年度事業計画案、予算案などについて話し合われ、こちらも承認されました。

ワークショップ

講演会講師の加藤令子先生には午後のワークショップでも話題提供をしていただきました。研究を積み重ねるプロセスや他機関とどのように協働していくのかなど、先生の研究活動の具体例から、看護の可視化を実現する研究の方略について、参加者との活発な意見交換がされました。



加藤先生の話題提供による「特別支援学校における災害の備えへの介入研究～行政機関との協同・連携の重要性～」



7つのワークショップのテーマ

- ◆ 「子どもの看取りに直面した家族を支える看護の可視化～実践—研究からケアガイドラインを創造する～」
- ◆ 「地域の健康課題と看護支援を可視化する方略～大学と行政の協働による取り組み～」
- ◆ 「看護をつなぐ急性期病院の取り組み～せん妄ケアに焦点を当てて～」
- ◆ 「身体抑制の調査に対する取り組みから」
- ◆ 「効果的な糖尿病教育プログラムを目指して～支援の可視化とチームでの共有化～」
- ◆ 「看護の実践を語ることで気づく自己の成長」
- ◆ 「特別支援学校における災害の備えへの介入研究～行政機関との協同・連携の重要性～」

ワークショップにもたくさんの方が集まり、看護の可視化についてあついディスカッションが行われました。



ワークショップの様子

野島幸代先生(1期生)を偲び、感謝を込めて

高知県立高知女子大学家政学部衛生看護学科の1期生であり、高知県の養護教諭として定年までご活躍された野島幸代先生が、2015年3月28日享年84歳でご逝去されました。

野島先生は、高知女子大学看護学会の発足時から昨年度の第40回の学会まで、定年後も毎年欠かさず参加してくださいました。大先輩として、高知女子大学への熱い思いを常に語ってくださり、看護学部の発展に力を注いでくださいました。また、野島先生は、高知県の養護教諭のリーダーとしても力を発揮され、看護学を学んだ養護教諭として専門性を示してくださいました。そこで、本同窓会並びに、高知女子大学看護学会では、野島先生を偲ぶために企画しました。



野島先生の国内外の旅行記録

当日は、野島先生が養護教諭時代に仕事をともにした養護教諭の先生方からも、メッセージをいただき、先生のお写真とともに、飾りました。

たくさんの同窓生の方々が、野島先生のお人柄を偲び、元気だった同時の思い出を語り合っていました。

野島先生は、さまざまな趣味を持たれていました。そのうちの1つが写真で、「第68回県展」では写真の部で特選をとられる腕前でした。

家族の素敵な笑顔が溢れる、写真でした。新聞にも掲載され、その写真、新聞も会場に飾り、同窓生みなで、野島先生を偲びました。

(池添志乃:記)



県展で受賞された写真と新聞記事

山崎 美恵子先生 日本看護協会名誉会員に



平成27年6月9・10日の両日に開催された日本看護協会通常総会において、高知女子大学名誉教授であり、初代看護学部長、ならびに看護学研究科長を務められた山崎美恵子先生が、日本看護協会名誉会員に認証されました。

山崎先生は、平成10年4月から高知女子大学看護学部長・大学院看護学研究科長として、看護教育の充実・発展人材育成に携われ、ご退職後は東京の清瀬にある日本看護協会看護教育・研究センター長として、3年間にわたり、全国の看護職者の生涯学習支援にご尽力をされました。また、大学で様々な要職を担われるなかで、早くから、教育の場と実践の場の連携の重要性を認識され、社会的貢献におけるリーダーシップを如何なく発揮されました。高知県看護協会第1副会長をはじめ、看護協会の様々な委員会の委員を務めるなど、高知県の看護および看護職の発展に貢献されて参りました。平成6年度より、本学看護学部の教員が指導者となり、臨床の場の看護職者を対象とする「看護研究エキスパート育成研修会」をスタートさせ、その活動は、現在まで引き続いて行われております。さらに、平成11年には、行政と高知県看護協会、大学とが連携した、災害看護支援体制を構築され、今日の災害看護における基盤づくりに尽力されました。

このように、山崎先生の永年にわたる看護の発展に貢献された功績は多大であります。そして、山崎先生は、ご存知のとおり、高知女子大学家政学部衛生看護学科の卒業生で、大先輩でもあり、この度の山崎先生の受章は、本同窓会にとっても大きな喜びです。

山崎先生の名誉ある受章をお祝いするため、高知県看護協会の宮井千恵看護協会長、高知県立大学看護学部の中野綾美看護学部長、高知学園短期大学の矢野智恵学科長が発起人となり、平成27年8月26日にザ クラウンパレス新阪急高知で、祝賀会が開催されました。南学長のお祝いの言葉と本同窓会の梶原和歌会長のご挨拶に続いて、山崎先生を慕う卒業生、修了生の方々から、先生との思い出の数々が披露され、会場は、終始大きな笑い声に包まれ、温かいお祝いの会となりました。



宮井千恵高知県看護協会会長 山崎美恵子先生 梶原和歌同窓会長

後列左 中野綾美看護学部長 後列中央 南裕子学長
後列右 矢野智恵高知学園短期大学看護学科長



廣末ゆかさん 第36回母子保健奨励賞 受賞



29期生の廣末です。昨年度、思いもかけない「第36回母子保健奨励賞」というものをいただきました。

平成9年に地元高知に帰り、保健師として働いております。この賞の授与に当たり、これまで出会った恩師や緒先輩や仲間たちから、いろんご示唆をいただき、考え方への広がりをもつことができました。そして住民の方々や職場の皆と一緒に取り組める環境があったからこそ、わがまちの母子保健の仕組みを築く機会をいただけたことが賜物であり、全ての皆様に、あらためて、深く深く感謝申し上げます。

社会情勢が変わり、人々の生き方も多様化し、子どもの育ちに大きく影響しています。従来の母子保健の対応では、今のニーズは解決できません。再度、子育てや子育てに纏わる民間事業所も含めた関係機関(保健、福祉、教育…)が顔を突き合わせて、役割機能を見直し発揮しあう仕組みも必要であり、住民と協働で地域をつなぐ活動も必要です。つまづく方が今は多いです。

新たな取り組みから7年目で道半ばです。成果がみえてくるのは、もっと先かもしれません。

今年度は、文科省の家庭教育支援に係る委員や厚労省の介護予防に係る事業のアドバイザーとして、“学び”の機会をいただいています。迷い多き保健師さんたちにも出会うことが多いです。

「保健師とは？看護とは？」を問い続けながら、後輩にきちんとバトンが渡せるようにしていきたいと思う今日この頃です。早くもそんな年齢になってしまいました！（笑）（高知県中芸広域連合保健福祉課）

高知医療センター 吉川清志病院長 田鍋雅子看護局長 ご就任



平成27年4月1日、高知医療センターの病院長に吉川清志先生が、看護局長に田鍋雅子様のご就任されました。高知県立大学看護学部とは縁が深いお二人のご就任は、大学にとっても卒業生・修了生にとっても大きな喜びです。

◆吉川清志病院長のご紹介

岡山県出身。ご専門は小児科で、高知県立高知中央病院に約20年間勤務し、高知医療センター開院時に総合周産期母子医療センター長に、平成24年には副院長に就任されました。高知中央病院の時代から本学の併任教授として、高知医療センターでは臨床教授として、長年にわたり本学の看護教育にご尽力をいただいています。



◆田鍋雅子看護局長のご紹介

高知女子大学家政学部看護学科卒業(38期生)。高知県立高知中央病院で看護師経験を積み、平成22年に本学大学院看護学研究科に進学、修了されました。高知医療センターでは、看護局の教育担当や入院フロアの責任者として、臨地実習をはじめとする本学看護学部・看護学研究科の教育や活動にご尽力をいただいています。

吉報を受け、看護学部では5月28日(木)にオリエントホテル高知で、お二人のご就任お祝い会を開催しました。

当日は、本学の南裕子学長、高知医療センターの藤原房子看護局次長をはじめとして、高知医療センターに勤務する卒業生や修了生、看護学部の教員など70名以上の参加がありました。元看護学部教授で、高知医療センターの初代看護局長を務められた梶本市子様も、お祝いに駆けつけてくださいました。ご出席の皆様からは、お二人の人柄やカリスマ性が垣間見えるエピソードとともに心温まるお祝いの言葉が伝えられました。吉川病院長にお世話になった大学院修了生や教員、田鍋看護局長の同級生などからのビデオメッセージもあり、会場は終始温かな雰囲気と笑顔に包まれました。



後半は、高知医療センターと高知県立大学看護学部の連携がますます強まるようにという願いを込めて、両施設が協力し合って新たな連携活動を企画するというアトラクションを行いました。全参加者が8グループに分かれ、「高知医療センターの職員と高知県立大学の学生、教職員で合同サークルをつくりましょう。」というお題について知恵を出し合って考え、プレゼンテーションをし、吉川病院長、田鍋看護局長、南学長、中野看護学部長の合議によってナンバーワン企画を選定していただきました。どの案もユニークでしたが、最終的に選ばれたのは「AKBダンスサークル吉川病院長顧問、南学長と田鍋局長のWセンターで」「週に1回飲みに行き、はし拳を極めるサークル」の2つでした。いつの日か実現するでしょうか。



高知医療センターと高知県立大学は包括的連携協定を結び、日頃からより良い医療の実現に向けて施設ぐるみで連携活動を行っています。看護学部では、学生の授業や臨地実習において支援をいただいている他、相互に協力し合って研修会や学習会を開催したり、共同研究に取り組んだりしています。また、学部生はボランティアをさせていただき、ホスピタリティや社会性を学ぶ場にもなっています。高知医療センターで活躍する本学の卒業生・修了生は74名となりました。

今後、両施設の連携をますます強め、新たな活動にチャレンジしていきたいと考えます。

フレッシュな卒業生からの便り

「看護師として働いて」

高知赤十字病院 松澤大二郎(61期生)



同窓生の皆さま、はじめまして、高知県立大学看護学部61期生の松澤大二郎です。

4月から高知赤十字病院の整形外科病棟で勤務しています。看護師として働き始めて、専門的な知識や社会人としての姿勢など、日々の看護の中で学ぶことが多くあり、忙しくもあり楽しい毎日です。

患者さんとお話する機会や看護ケアの場面から勉強させていただくことが多く、患者さんの笑顔を見ることが出来る点において非常にやりがいのある仕事だと再認識しました。入社しても病院野球部にも所属して野球を続けており、メンバーの職種は違っていてもチーム一丸となって全国大会を目指して練習しています。

これからも、何事にも貪欲に取り組み、看護師として高知県の医療に少しでも貢献できるよう日々精進していきたく思います。また、私も参加しておりました「健援隊」の活動に、今後とも皆さまのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

「保健師として働いて」

高知市役所 母子保健課 山本ゆい(58期生)



今年度4月より、新たに行政保健師としての一步を踏み出しました。大学在学中より地域看護に興味がありましたが、まずは疾患を抱える方たちに対して看護をしていきたい思いがあり、臨床の場で3年間経験させていただきました。そして現在、保健師として活動させていただくようになり、まだ半年にも達していませんが、「ヘルスプロモーション」の実行の難しさを感じ始めています。

母子保健の分野では今、地域全体で子育てを支える体制の構築を目指して活動しています。私は、地区担当保健師として、個人、地域住民全体への介入と幅広く動いていますが、一人ひとりが「主体的」に課題に取り組むように働きかけることが、自身の大きな課題となっています。先輩方の活動を見ると、地域全体をうまく巻き込んで活動しているため、良い刺激になります。

私も、先輩方のように、住民全体がいいきと生活できる活動ができるよう日々努力していきたく思います。

「助産師として働いて」

岡山大学病院 池桃華(61期生)



高知県立大学を卒業し、臨床の場に立ってはや半年が経とうとしています。岡山での新生活もスタートし、日々忙しくも楽しみながら過ごしています。

岡山大学病院では、身体的・社会的にハイリスクな対象者の方々に、日々助産看護を実践しています。学生時代には、出会った

ことのない、様々なリスクを要する対象者さんと関わらせていただく中で、元気な産声が聞こえる新しい家族の誕生の奇跡を実感する毎日です。不安や葛藤もたくさんある一方で、毎日が新たな学びの連続で、とても充実した日々を送っています。

そして、大学時代に学んだ知識・技術は、今新たに学んでいることの礎となっており、「学生の頃にしっかり学んでおいて良かった！」と実感することが多くあります。まだまだ私の助産師としての道は始まったばかりですが、対象者さんそれぞれの背景に合わせた助産看護を提供し、新たな家族の誕生を共に喜べるような助産師を目指して、毎日学びを深めていきたく思います。

「養護教諭として働いて」

高知県立春野高等学校 濱田理恵(60期生)



先生！と呼ばれるようになってから二回目の夏を迎えることができました。やっと日々の仕事や生徒との関わりに慣れてきたかな、と感じようになった今年の三月に大規模校を異動となり、今は中規模校の高校に勤務しています。そのため、現在

は生徒一人ひとりとじっくり話をする機会も増えました。

その中でも、精神的に辛さを抱えていたり、それらが身体的な症状として現れる生徒が保健室へきます。そんな時には、生徒の表情や生活環境、また友達とのやり取りの様子をみながら、少しずつ生徒の言葉の奥にある想いを考えている日々です。特に生活環境に含まれる、家庭環境が生徒一人ひとりによって本当に様々であり、また流動的であるため、いつどの時期に変化があったかという情報も生徒の言動の変化を理解するためには自分にとって大切な情報となっています。

時には養護教諭の先輩からアドバイスを頂き、また研修等で学び、疲れていた生徒が笑顔になるよう、日々の関わりを大切にしていきたいと思っています。



高知県・高知市の保健師のトップリーダーとして貢献された 山本雅子さん、村上和子さん

山本雅子さん、村上和子さんの職務を全うしてのご退職のお祝いと高知県立大学看護学部に対するお二人の大きなお力添えに対して、「山本さん・村上さんに感謝する会」を平成27年6月25日、城西館思季亭にて開催しました。野嶋佐由美副学長、中野綾美看護学部長、藤田佐和研究科長をはじめとして看護学部の教員11名が参加しました。また、高知市子ども未来部母子保健課・刈谷美乃里さん、高知市健康福祉部高齢者支援課介護予防係・中越美渚さん、高知県庁健康福祉部健康対策課・中島信恵さん、高知県庁健康長寿政策課・野口裕子さんよりメッセージを頂きました。お二人のご活躍に、後に続く多くの後輩が勇気づけられたことを感謝し、これからの新たな門出をお祝いしつつ和やかで楽しい時間を過ごしました。



村上和子さん

山本雅子さん

山本雅子さんは、昭和52年4月に高知県の保健師として入職され、須崎保健所橋原南部駐在での保健師活動を皮切りに高知県下の様々な保健所、保健婦専門学院、健康福祉部保健福祉課の課長補佐を歴任し、高知県健康政策部健康長寿政策課企画監を最後に平成27年3月に退職されました。

また、村上和子さんは、昭和54年に高知市の保健師として入職され、保育母子課、高齢者対策課、長寿生活課、高知市保健所健康づくり課課長補佐を歴任し、高知市子ども未来部母子保健課長を最後に平成27年3月に退職されました。

感謝する会での楽しいひと時

山本さんは、高知県全体の保健師を統括する立場であり、村上さんは、高知市の保健師を統括する立場でしたので、結果的に高知県全体の保健師及び保健師活動をマネジメントしながら、高知県民の健康づくりに大きな貢献をしておられます。高知県立大学看護学部はもちろん、お二人の専門領域である地域看護学領域の教員、大学院生、学生、保健師として働いている卒業生や修了生にとって、研究活動、教育活動、地域貢献活動の大きな力になり、力強い支えになりました。

高知市では、学部学生の実習指導をお願いしています。高知市自体がとても素晴らしい活動をされているので、本当にいい環境で学ぶことが出来ますし、継続的に実習していますので、学生のことや実習のことを理解していただいております。学生の実習を待っていてくれる施設や地区もあり、実践的な学びが得られています。また、修士課程の実践演習についても、保健所や保健センターだけでなく、福祉の分野・町づくりの分野などでも指導していただき、実り多い実習となりました。研究活動としては、「こんにちは赤ちゃん事業」に一緒に取り組んで、地域のケア提供システムを新たに作ることに参画させていただき、その成果を研究的にまとめることが出来ました。

また、高知県では、平成19年から、高知県全体の保健師の研修を企画し実施する事業を行うにあたって、統括責任者の立場から声をかけていただき、参画させていただきました。「高知県保健師人材育成ガイドライン」を作成し、実施し、評価しながら改善していく活動を現在も協働して行っています。高知県全体の保健師さんと一緒に、保健師活動について議論し、ガイドラインを作ったことはとても楽しい体験でした。新任保健師、中堅期保健師、管理期保健師の研修を系統的に企画して実施することは、教育活動にとっても大きな意義がありましたし、高知県下の保健師さん、保健所の方、市町村の方など様々なかたとのつながりが持つことが出来ました。高知県の保健師活動の質が向上し、県民の方々の健康づくりに貢献できる機会を頂き、現在も学ばせていただいています。

お二人の力強い支えによって得た機会やそのつながりの中で、これからも大学の教育研究活動を発展させていくことが出来るのではないかと考えています。

本当にありがとうございました。（時長美希 記）

ご寄付をいただいた方

下記の皆様より寄付をいただきました。誠にありがとうございました。(敬称略 平成27年 8月 31日現在)

佐々木正子様(5期)	竹内易子様(5期)
山崎美恵子様(5期)	竹中リツ子様(7期)
南裕子様(11期)	高木和子様(14期)
伊賀上睦見様(16期)	佐藤美穂子様(18期)
伊与田芳子様(22期)	岡本真知子様(22期)
北窪恵子様(23期)	窪谷由美子様(24期)
久保田加代子様(25期)	北川里佐子様(27期)
森木妙子様(30期)	大川宣容様(35期)
森下幸子様(修士6期)	大西ゆかり様(博士8期)
内川洋子様(博士10期)	

高知県立大学 看護学部

看護相談室

2015

11の専門領域が、高知県の保健・医療・福祉に従事する皆様方と共に、ケアの質を向上させることを目的としています。



http://www.u-kochi.ac.jp/~kango/
日程の確認にはホームページをご覧ください

家族看護学 ケア検討会 6/18(木),11/26(木)18:30~20:30 リカレント教育 6/6(土),10/17(土),2/20(土)10:00~15:00 交流同窓会 9/5(土)小田原	■ 長戸研究室 ☎088-847-8708
精神看護学 ケア検討会 6/11(木),9/17(木),12/17(木),3/18(金)19:00~21:00 *専門看護師の方対象 リカレント教育 6/13(土) 13:00~16:00, 9月頃開催予定 *6/13は日本精神科看護技術協会高知支部との共催 交流会 6/27(土)	■ 田井研究室 ☎088-847-8723
がん看護学 質の高いがん看護実践を検討する会6/6(土),10/17(土),2/13(土) アストラル学習会 ①5/22(金)②7/24(金)③9月頃 ④11/27(金)⑤1/23(土)⑥2/20(土)	■ 藤田研究室 ☎088-847-8704
クリティカルケア看護学 ケア検討会 6/20(土),10/31(土),2/13(土) リカレント教育 開催時期未定	■ 森下(雅)研究室 ☎088-847-8702
慢性期看護学 ケア検討会 2回開催予定 リカレント教育 1回開催予定	■ 内田研究室 ☎088-847-8720
小児看護学 修了生の会 7/25(土)千葉, 2月未定 赤ちゃん同窓会 10月下旬~11月上旬	■ 中野研究室 ☎088-847-8710
母性・助産看護学 ケア検討会 1回開催予定 リカレント教育 1回開催予定	■ 松本研究室 ☎088-847-8722
地域看護学 リカレント教育 6/12(金), 7/24(金),12/18(金),12/25(金) 修了生の会 5/23(土)	■ 時長研究室 ☎088-847-8715
在宅看護学 ケア検討会 7/14(火),2/16(火)18:30~20:30 修了生の会 開催時期未定	■ 森下(安)研究室 ☎088-847-8709
老人看護学 ケア検討会 6/9(火), 10/13(火)18:30~20:30 リカレント教育 1/23(土)	■ 竹崎研究室 ☎088-847-8705
看護管理学 ケア検討会 5/26(金),10/9(金),1/22(金)18:30~21:00 リカレント&交流会 2/20(土)18:00~	■ 山田研究室 ☎088-847-8716

看護学部・看護学研究科の活動

看護学部では、毎年、各専門領域ごとに卒業生、修了生、また地域の専門職者の方々と学びを共有する場として看護相談室を開催しています。
 今年度の予定が決定しています。
 ぜひ、ご参加ください。
 高知県立大学のホームページにも詳細が記載されていますので、ご覧下さい。



寄付のお願い

同窓会への寄付のご協力をよろしくお願いたします。
 寄付金は、同封の振込用紙にてお願いたします。ホームページでもご覧いただけます。
 ご不明な点はいつでもお問い合わせください。



猛暑の夏が去ったのもつかの間、その後の台風による豪雨の影響は各地に甚大な被害をもたらしました。皆様のお住まいの地域は大丈夫でしたでしょうか。国内外で起こる様々な出来事に、一喜一憂したり、少なからず影響を受けていますが、このような時こそ、物事を静観して考えることが必要で、心にゆとりを持つことの大切さを感じます。本同窓会報でも、様々な出来事を発信しています。皆様方からも是非、近況などをお寄せいただくと幸いです。

(森下・池添)



編集後記

事務局

〒781-8515 高知市池2751-1 高知県立大学看護学部
 Fax: 088-847-8750

ホームページアドレス

高知県立大学
<http://www.u-kochi.ac.jp/>
 高知県立大学看護学部
<http://www.u-kochi.ac.jp/~kango/>

